

いわて女性の活躍支援強化事業【岩手県】

地域の実情と課題

- ◆ 岩手県は、従業員300人以下の企業が全体の大多数を占めていることから、県全体において女性活躍の取組を進めるためには、中小企業において女性活躍推進法に基づく行動計画を策定することが必要である。
- ◆ 様々な分野の女性の活躍を一層推進するために、個別の分野ごとの取組や、企業・団体トップによる率先した取組が重要である。

事業の特徴

- ◆ いわて女性の活躍促進連携会議に5部会（防災・子育て支援・女性の就業促進・農山漁村・建設業）の活動を通じて分野ごとの女性活躍を支援
- ◆ 女性、「経営者」を対象としたセミナーを実施し意識啓発を図るとともに、活躍する女性の業種を越えたネットワークづくりや情報発信を目的とした女性交流会を実施
- ◆ 「いわて女性活躍推進員」による「いわて女性活躍企業等認定度」やイクボスの普及により県内の企業・団体の女性活躍を促進

事業の効果

- ◆ 「いわて女性活躍推進員」による企業経営者等への「いわて女性活躍企業等認定制度」やイクボス、働き方改革、子育て支援制度の活用についての働きかけなど、企業・団体の女性が働きやすい環境づくりを支援した結果、いわて女性活躍認定企業やイクボス宣言企業が大幅に増加するなど、県内企業・団体における女性活躍に対する機運が着実に高まってきている。
- ◆ 「岩手で輝く女性交流会」において、業種を越えた女性のネットワークの構築や活躍する女性の情報発信が強化された。

目的・目標

- ◆ 女性活躍のための経営者研修出席者数
目標 50名 ⇒ 実績 63名
- ◆ ロールモデル提供事業参加者数
目標 45名 ⇒ 実績 116名

連携団体

- ◆ いわて女性の活躍促進連携会議構成団体(20団体)
岩手県商工会議所連合会、岩手県中小企業団体中央会
岩手県商工会連合会、一般社団法人岩手経済同友会
一般社団法人岩手県経営者協会、岩手県中小企業家同友会
一般社団法人岩手県銀行協会、岩手県信用金庫協会
岩手県農業協同組合中央会、岩手県漁業協同組合連合会
一般社団法人岩手県農業会議、岩手県森林組合連合会
一般社団法人岩手県建設産業団体連合会、岩手県消防長会
認定NPO法人いわて子育てネット
特定非営利活動法人参画プランニング・いわて
岩手労働局、岩手県男女共同参画センター
ジョブカフェいわて
岩手県

今後の課題

- 女性がそれぞれのライフステージ、ライフスタイルに応じて活用できるよう次の取組が必要
- 1 女性が働きやすい職場環境づくり
 - 2 女性のキャリア形成や業種を越えたネットワークの構築
 - 3 女性の発想や視点を生かした起業の支援

いわて女性の活躍促進連携会議

連携会議を開催し、構成団体の連携した事業実施や情報共有を行うことによって、「女性が活躍できるいわて」の実現を目指す。

◆連携会議の開催

第1回

日時：平成30年10月11日（月）10:00 ～ 12:00

場所：大通会館リリオ 3階 イベントホール

内容：(1) 協議「女性活躍支援の取組について」

ア 平成30年度の取組について

イ 岩手で輝く女性交流会の開催について

ウ 5部会の取組について

エ 女性活躍推進に関するアンケート調査の実施について

(2) 報告「女性活躍関連制度の普及について」

(3) 意見交換

ア 構成団体等における女性の活躍支援の取組について

イ 次期総合計画について

第2回

日時：平成31年3月20日（水）13:30 ～ 15:30

場所：エスポワールいわて 2階 大ホール

内容：(1) 報告

ア 女性活躍支援の取組について

(ア) 平成30年度の取組実績について

(イ) 5部会の取組実績について

イ 国・県の女性活躍関連制度について

(ア) えるぼし認定・くるみん認定制度について

(イ) いわて女性活躍企業等認定制度・イクボスの普及について

(ウ) いわて子育てにやさしい企業等認証制度について

(エ) いわて働き方改革推進運動について

(2) 協議

ア いわて女性の活躍促進連携会議設置要領の一部改正（案）について

イ 平成31年度事業計画（案）について

(3) 意見交換

構成団体等における女性活躍支援の取組について



事業の概要

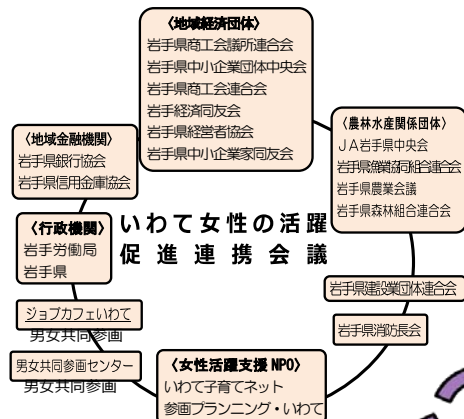
いわて女性の活躍促進連携会議5部会

連携会議に5つの部会を設置し、本県の現状を踏まえて個別の分野ごとの取組を推進する。

女性活躍支援の推進体制について

いわて女性の活躍促進連携会議

女性活躍推進のための各種施策、社会全体への理解促進等総合的に推進



女性活躍推進本部会議

いわて女性の活躍促進連携会議における協議結果を踏まえ、本県の施策の推進、情報収集、連絡調整

役割

- ① 本県における女性活躍支援に関する施策の推進にすること
- ② 県における女性活躍支援に関する情報収集及び連絡調整にすること

組織

本部長：知事
副本部長：副知事
本部長：企画理事、本庁各部長、医療局長、企業局長、教育長、警察本部長及び広域振興局長

いわて女性活躍推進員

いわて女性の活躍促進連携会議 5部会

分野ごとの取組を推進し、女性が活躍する取組を発信

防災部会 (総務部)

女性消防職員や女性消防団員の先進的な取組を紹介し、女性消防職員の活躍の推進や女性消防団員の入団の促進を図るとともに、女性にとって働きやすい環境づくりを促進する。

子育て支援部会 (保健福祉部)

女性が子育てをしながら働き続けることができる環境を整備するため、多様な保育サービスの提供や保育士の確保などに向けた取組の推進について、官民協働で検討を行う。

女性の就業促進部会 (商工労働観光部)

女性の就業促進と女性が企業等で活躍するための支援を中心のテーマとし、女性の就業促進に向けた意識啓発や支援策も併せて検討する。

農山漁村で輝く女性部会 (農林水産部)

農林業の振興と活力と湧く農山漁村の実現に向け、女性のアイデアや能力を最大限に発揮できる環境を創造し、積極的に農山漁村で活躍する女性（の育成）の取組を推進する。

けんせつ小町部会 (県土整備部)

女性が働きやすい職場環境を整備することで女性の活躍支援を図るとともに、高齢化が進む建設業界の担い手の確保を促進する。

いわて女性の活躍促進連携会議 防災部会

＜構成団体・委員＞

岩手県消防長会
公益財団法人岩手県消防協会
岩手県婦人消防連絡協議会
岩手労働局
岩手県教育委員会

【女性消防職員】
小 菅 亜紀子 氏（北上地区消防本部所属 消防指令補）
藤 原 神 奈 氏（盛岡市消防団 部長）
伊 藤 ト ヨ 氏（奥州市消防団 部長）

＜平成30年度の取組実績＞

1 女性消防職員

- (1) 全国女性消防吏員交流会（平成30年7月7日 千葉県）への職員派遣【新規】
先進事例やロールモデルとなる働き方を知ることで、キャリアアップを支援するため、県から女性消防吏員2名を派遣した。
- (2) 県内女性消防吏員研修会の実施（平成30年12月20日）【新規】
県内の女性消防吏員32名が出席し、国及び県の取組状況の説明、全国女性消防吏員研修会に派遣した職員からの参加報告を行い、更なる取組強化に向けて意見交換を行った。
- (3) 総務省消防庁女性消防吏員活躍推進アドバイザー制度の活用（平成29年12月創設）
平成30年6月5日 盛岡消防本部が管理職対象の特別研修を実施。
平成30年9月7日 消防学校が上級幹部科の学生等を対象に研修会を実施。
- (4) マイビーンターシップフェアにおける学生への情報発信（平成30年12月1日）
消防本部と協力し、株式会社マイナビが主催する職業説明会において、消防分野における女性活躍について周知するとともに、学生に消防に対する理解を深めていただいた。
- (5) 岩手県消防学校において女性活躍推進講習を実施（平成31年3月15日）【新規】

2 女性消防団員

- (1) いわて男女共同参画フェスティバル（平成30年6月16日）
総務省消防庁消防団等充実強化アドバイザーによる講演及び県内の女性消防団員とのパネルディスカッションを実施した。
- (2) 県政広報を活用した情報発信
「いわてグラフ」3月号に「いわて消防団応援の店」紹介記事を掲載した。
- (3) いわて消防団応援の店登録事業による団員確保へ向けた取組を実施
平成30年12月31日現在 206店舗
- (4) 岩手県立大学大学祭での消防団PRブースの設置（滝沢市と共同）（平成30年10月20、21日）
- (5) 奥州市で消防団カラーガード隊が結成（平成30年12月17日）【新規】
団員確保及び女性消防団員の活躍の場を広げるため、総務省消防庁の「女性や若者をはじめとした消防団加入促進支援事業」を活用し、県内初となる消防団のカラーガード隊が結成された。

3 部会の開催

- (1) 第1回防災部会（平成30年7月31日）
第1回本部会議の内容及び県の取組等について情報提供を行い、県内の女性消防吏員・消防団員の現状や取組状況等について委員による意見交換を行った。
- (2) 第2回防災部会（平成31年2月7日）
第2回本部会議の内容及び県の取組等について情報提供を行い、平成30年度の取組状況及び平成31年度の取組方針について委員による意見交換を行った。

＜成果及び課題＞

【成果】

- ・ 防災部会での消防本部、市町村及び関係団体との意見交換等により、情報共有を図り、連携しながら事業を実施することができた。
- ・ 消防署等において女性消防吏員が働きやすい施設及び設備の整備が進んできている。
- ・ 女性消防団員の活動を県の内外に情報発信するための取組が進んできている。

【課題】

- ・ 女性でも消防吏員や消防団員として活躍できるという認知度がまだまだ低いことから、引き続き情報発信を行い、なり手を増やしていくための支援が必要である。
- ・ 女性が消防の仕事長く続け、キャリアを形成していくためのソフト面の支援が必要である。

事業の概要

いわて女性の活躍促進連携会議5部会

連携会議に5つの部会を設置し、本県の現状を踏まえて個別の分野ごとの取組を推進する。

いわて女性の活躍促進連携会議 子育て支援部会

《構成団体・委員》

学校法人盛岡大学短期大学部
日本保育協会岩手県支部
岩手県私立保育園連盟
認定NPO法人いわて子育てネット
岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会（岩手県社会福祉協議会）
岩手県小学校長会

《平成30年度の取組実績》

- 1 女性活躍に向けた子育て支援についての意見交換等を実施
 - (1) 保育関係団体との意見交換会の実施
 - ・県私立幼稚園・認定こども園連合会（経営セミナー、2回）
 - ・県保育協議会（保育所長部会、1回）
 - ・保育士等キャリアアップ研修を独自で開催している団体と、保育士の処遇改善やキャリアアップ研修に係る意見交換を実施
 - (2) 部会の開催（2月）

平成31年10月に実施される幼児教育の無償化、平成31年度予算編成の基本方針及び「いわて県民計画（2019～2028）」について意見交換を実施
- 2 「岩手県子ども・子育て会議」に対して、子育て支援部会での意見交換内容について情報提供
- 3 いわて未来づくり機構子育て支援作業部会との連携
 - 部会の検討論点である「企業等における子育て支援の取組の促進」に向けて、いわて未来づくり機構子育て支援作業部会が平成31年度に予定している企業等に対する子育て支援ニーズ調査に係る連携の可能性について意見交換（作業部会）（参考）
 - ・「岩手県子どもの生活実態調査」（支援ニーズ調査）の活用
 - 今後、平成30年度に実施した「岩手県子どもの生活実態調査」の支援ニーズ調査を活用し、女性の就労・キャリア形成の希望を叶えるための子育て基盤の整備に資する取組に係る意見交換も併せて行う。

《成果及び課題》

- （成果）
- ・女性の就業率が上昇する中で、保育の受け皿となる保育所等の整備が進んでいるが、一方で、首都圏との待遇面等での差異が生じており、保育士等の人材確保が一層難しくなっていることが確認された。
 - ・課題と考えられる企業等における子育て支援の取組の促進に向けて、支援ニーズ調査の方向性が確認できた。
- （課題）
- ・保育士の確保については、平成31年度の幼児教育の無償化を控え、さらに厳しくなることが想定されることから、さらなる取組が必要。
 - ・女性の就労やキャリア形成に向けて、企業の取組が不可欠であることから、実態把握に基づく検討が必要

いわて女性の活躍促進連携会議 女性の就業促進部会

《構成団体・委員》

【女性の経営者、役員、管理職や起業された方8名】
川村 智美氏（獨ウノー・インダストリー 経理課長）
神崎 恵利香氏（獨東北銀行 盛岡駅前支店長）
工藤 昌代氏（獨ホップス 代表取締役）
坂下 克子氏（獨川徳 営業一部 部長代理）
佐々木 祐子氏（東京土地販売 代表取締役）
佐藤 智栄氏（獨サトウ精機 代表取締役社長）
渡邊 さやか氏（獨re:terra 代表取締役）
渡邊 里沙氏（獨秀吉 営業企画部長）

《平成30年度の取組内容》

平成29年度の取組を踏まえ、女性の就業促進に向けた具体的な取組方策等について検討。

- 1 部会の開催
 - (1) 第1回（5/31開催）

女性の就業に係る課題（求人・求職者間のミスマッチ、経営者の意識改革など）について、他県の事例等を交えながら、解決策の検討を行った。
 - (2) 第2回（10/25開催）

岩手県次期総合計画（案）について意見を聴取するとともに、「働き方改革」、「ワーク・ライフ・バランス」及び「起業支援」を進めるための方策等について検討した。
 - (3) 第3回（2月開催予定）
- 2 オフ会の開催、他部会との連携（6月～2月開催予定）
 - (1) 農山漁村で輝く女性部会との交流会（10/25開催）

「事業承継」及び「女性が働きやすい環境づくり」について、農山漁村で輝く女性部会委員との意見交換を行った。
 - (2) オフ会（11）と同日開催
 - 上記（1）（農山漁村で輝く女性部会との交流会）で出た意見の深堀りや委員同士の更なる交流深化など、分野を超えた交流促進を図った。
- 3 女性の就業促進に向けた提言等
 - 10月3日に開催された全国商工会議所女性会連合会創立50周年記念式典・第50回岩手総会において、本県の女性活躍推進及び部会の取組に係る資料を配布し、情報発信を行った。また、ツイッターを開設し、全国の女性経営者等と継続的なコミュニケーションを図る仕組みづくりを行った。

《成果及び課題》

- 【成果】
- 部会、オフ会の開催により、女性の就業に係る課題やそれに対する各委員の考え、対応策等について議論を深めた。課題については、昨年度に類型化した「①経営者に取り組むべきこと」、「②経営者と被雇用者（個人）が共に取り組むべきこと」、「③社会全体で取り組むべきこと」の3つの類型ごとに整理し、課題に対する役割分担を明確にしたうえで、どのような対応をすべきか等について検討した。
- 【主な意見】
- | 経営者 | 個人 | 社会 |
|--|---|---|
| ・経営者の意識改革を促すには、「業務コストを下げる」か「利益を上げる」しかない。 | ・課題解決に向けネックになっているのがベテラン男性層の意識であり、「自分の妻や娘がこのような環境で働きたいか」と考えてほしい。対応として、メンター制の普及はどうか。業種や企業規模によって悩みは異なることから、その企業内に課題を共有できる男性がいるとよい。 | ・採用に当たっては若い人に来てほしいが、責任のある仕事をしたくないという人は多い。 |
| ・情報を知っているか否かは大きい。岩手の人口規模だと人の輪がでやすく、それも岩手の強みと思うので、「逆のスケールメリット」を活かし、情報を相互に送受信できる仕組み等「岩手だからこその強み」ものがあるというのでは。 | | |
- 【課題】
- 業種や企業規模によって、女性活躍推進に対する意識や、取り組めること、取組が難しいことが異なることから、産業界側がそれぞれ早期に何らかの具体的な行動を起こすための訴え方や具体的な取組につなげるための方策等について更なる検討が必要。

事業の概要

いわて女性の活躍促進連携会議5部会

連携会議に5つの部会を設置し、本県の現状を踏まえて個別の分野ごとの取組を推進する。

いわて女性の活躍促進連携会議 農山漁村で輝く女性部会

＜構成団体・委員＞

一般社団法人岩手県農業会議	【構成団体から推薦された若手女性農林漁業者（8名）】
岩手県農業協同組合中央会	大森 友紀子氏（花き、花育・食育）
岩手県森林組合連合会	菅野 由加里氏（造林作業工程管理）
岩手県農業協同組合連合会	佐々木 久江氏（りんご）
岩手県農山漁村女性組織連携会議	菅原 紋子氏（水稲、小麦、6次化）
岩手県	平子 幸氏（ホタテガイ養殖、ウニ・アワビ漁業）
	高橋 愛氏（養魚業、八幡平サーモン）
	藤原 純子氏（和牛繁殖）
	吉田 明子氏（水稲、野菜）

＜平成30年度の取組内容＞

1 女性部会の取組

- (1) 第1回部会（7月31日開催）
次期総合計画「長期ビジョン（素案）」や部会の活動内容等について意見交換
- (2) 第2回部会（10月25日開催）
次期総合計画「長期ビジョン（中間案）」・「アクションプラン（素案）」や、女性活躍推進に向けた県の取組等について意見交換
- (3) 他部会との交流会（10月25日開催）
「女性が働きやすい環境づくり」や「事業承継」をテーマに「女性の就業促進部会」と意見交換
- (4) 第3回部会（3月開催）
次年度における部会の活動内容や県の取組等について意見交換

2 県の取組（参考）

- 本県農林水産業をけん引する女性農林漁業者を育成するため、女性農林漁業者のネットワークづくりなどを支援する「幸せ創る女性農林漁業者育成事業（新規）」を実施
- ① 女性農林漁業者の活躍に向けた機運の醸成
講演会の開催（2～3月、3回）、女性の経営参画に向けたPRチラシ作成（1万部）
 - ② 女性グループ活動の支援
支援件数：14件（うち林業など新規取組6件）、グループ活動成果発表会（3/7、プラザおでつて）
 - ③ 女性農林漁業者の交流促進
農林漁業に携わる若手女性の交流会の開催（1/29、盛岡グランドホテル、144名参加）
 - ④ 女性農林漁業者の機械作業技術の向上
研修会の開催（9回、延べ104名参加）、農業機械の取り扱いガイドブックの作成（1千部）

＜成果及び課題＞

【成果】

- ・ 部会で出された意見等を踏まえ、次年度の県の取組に、若者夫婦を対象としたセミナーの開催等を追加
- ・ 「女性の就業促進部会」との交流会により、農林水産と商工の産業の枠を超えて、女性が働きやすい環境づくり等の現状や課題などを共有

【課題】

- ・ 女性の働きやすい環境づくりや経営参画を進めるためには、男性の協力が必要
- ・ 農林水産業の経営の中で女性の活躍を促進するためには、これからの経営に必要な新たな技術の習得や経営者育成のための伴走期間が必要

いわて女性の活躍促進連携会議 けんせつ小町部会

＜構成団体・委員＞

【（一社）岩手県建設産業団体連合会から13団体及び岩手県】	（一社）岩手県電業協会
（一社）岩手県建設協会	（一社）岩手県コンクリート製品協会
（一社）岩手県空調衛生工事業協会	（一社）日本造園建設協会岩手県支部
岩手県鉄構工業協同組合	（一社）岩手県警備業協会
（一社）日本塗装工業会岩手県支部	（一社）日本補償コンサルタント協会
（一社）岩手県測量設計業協会	東北支部岩手県部会
岩手県アスファルト合材協会	岩手県建設資材連合会
岩手県防水工事業協同組合	

＜平成30年度の取組内容＞

1 会議

- ・ 第1回（6月29日）：取組内容検討等
- ・ 第2回（H31年3月8日）：取組結果検証、次年度以降の取組内容検討

2 現場見学会（女性技術者配置）の開催

- ・ 第1回（7月30日） 親子向け（女性職員含む）：宮古市閉伊川水門
小・中学生及び保護者等を対象に、女性技術者の活躍状況や女性が働きやすい現場環境の見学を行ったほか、セメントを使用したものづくり体験を実施
⇒ 参加者63名（親子：42名、女性職員：21名）
- ・ 第2回（9月13日） 女性職員向け：岩手医科大学総合移転整備計画附属病院新築工事
建設産業で働く女性職員等を対象に若手女性技術者の活躍状況の見学を行ったほか、当該現場で働く女性職員を交えた意見交換会を実施。⇒ 参加者50名

3 イメージアップや女性職員同士の交流促進

- ・ ホームページ（<http://iwate-komachi.net/>）の開設（7月27日）
建設産業で活躍する女性職員に関する情報を広く発信し、建設業のイメージアップに向けたPRを実施。
- ・ けんせつ小町ネットワーク（SNS）による女性職員同士の交流促進。

4 講習会及び研修会の開催

- ・ 第1回（11月20日）
女性職員のスキルアップを目的にした講習会、ICT技術体験型セミナー等 ⇒ 参加者43名
- ・ 第2回（H31年1月16日）
男性職員及び女性職員を対象に女性が活躍できる職場環境づくりや支援体制等に関する講習会 ⇒ 参加者24名



親子現場見学会の状況

ICT技術体験型セミナー（VR体験）

＜成果及び課題＞

【成果】

- 建設産業への更なる女性の進出を図るため、より若い世代への情報発信を目的とした現場見学会や、女性が活躍出来る職場環境を目指し男性職員を含めた講習会を新たに開催し、昨年度を上回る多くの参加者を得ている。
- 親子現場見学会のアンケートにおいて、参加した子供の約8割が「建設業に興味を持った」と回答があったほか、保護者全員から「建設業のイメージが良くなった」と回答があり、建設産業のイメージアップに繋がっている。

【課題】

- 男性職員及び女性職員を対象とした講習会において、男性職員の参加割合が低かったため、次年度以降の周知等の取組に反映させる必要がある。
- ホームページを開設したが、より多くの方に見ていただくため、若年者向けの情報の掲載や発信頻度を増やすほか、各団体との連携を行う必要がある。

事業の概要

1 女性活躍に係る研修及びセミナー事業

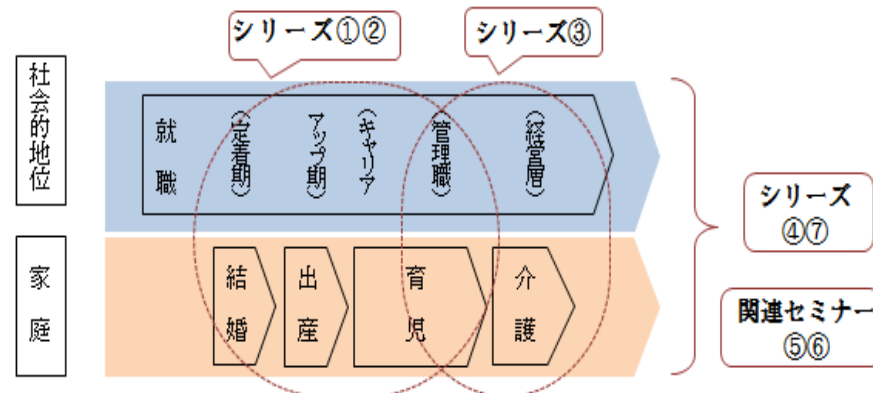
◆働き方改革、子育て支援制度との連携

県の関係部局が実施する女性に関するセミナーを、女性のライフステージに合わせたシリーズとして開催。

開催日	セミナー概要
10月23日(火)	【シリーズ①】働く女性のためのキャリアアップセミナー1 内 容 県内企業の女性管理職から直接話を聞くことによって、ロールモデルとなる女性の働き方を学び、自身のキャリアプランをイメージする講座 場 所 岩手教育会館 カンファレンスルーム201・202 対 象 県内事業所の若手女性社員等
11月16日(金)	【シリーズ②】働く女性のためのキャリアアップセミナー2 内 容 県内企業の女性管理職から直接話を聞くことによって、ロールモデルとなる女性の働き方を学び、自身のキャリアプランをイメージする講座 場 所 二戸パークホテル 対 象 県内事業所の若手女性社員等
11月7(水)	【シリーズ③】～女性活躍推進のための～経営者・管理者セミナー 内 容 基調講演、事例発表(いわて女性活躍認定企業等) 場 所 岩手県公会堂26号室 対 象 県内事業所等の経営者や管理職
12月14日(金)	【シリーズ④】岩手で輝く女性交流会 内 容 基調講演、女性活躍のための取組事例発表 場 所 マリオス 18階180-181会議室 対 象 県内の女性(男性も可)
11月21日(水)	【シリーズ⑤】いわて働き方改革推進セミナー2018 内 容 いわて働き方改革実践モデル企業取組最終報告会 場 所 岩手県教育会館 多目的ホール 対 象 企業の経営者、人事・労務担当者、行政関係者等 ※いわて働き方改革アワード2018表彰式を同時開催

開催日	セミナー概要
12月7日(金)	【シリーズ⑥】ワーク・ライフ・バランス推進セミナー 内 容 子育てと仕事の両立に関する基調講演及びパネルディスカッション 場 所 プラザおでって 3階おでってホール
11月～2月	【シリーズ⑦】女性活躍に関する出前講座 企業・団体からの要請を受け、講師派遣等により実施(15箇所)
3月12日(火)	【シリーズ⑧】働く女性のためのキャリアアップセミナー3 内 容 県内企業の女性管理職から直接話を聞くことによって、ロールモデルとなる女性の働き方を学び、自身のキャリアプランをイメージする講座 場 所 岩手県公会堂 2階21号室 対 象 県内事業所の若手女性社員等

【女性の一般的なライフステージとセミナーの主な対象領域】



5 女性活躍関連セミナー

働く女性のためのキャリアアップセミナー（ロールモデル提供事業）

将来において目指したいと思うモデルとなる女性を学生や若手社員等にし、今後のキャリア形成に生かすとともに、女性自身がキャリアアップするために必要なスキルを学ぶことにより、女性が活躍できる社会の形成に寄与することを目的に実施

◆盛岡会場：県内事業所の若手女性社員等向け 参加者36名

日時：平成30年10月23日（火）14：50～16：50

場所：岩手教育会館 カンファレンスルーム201・202

スピーカー：① カシオペア市民情報ネットワーク

放送局長 大久保 瞳 氏

② 有限会社 めぐまるの家

小規模多機能型居宅介護施設他 管理者 阿部 香織 氏

③ 株式会社 東北銀行

資産運用コンサルティング部 副調査役 市丸 美沙 氏

◆二戸会場：県内事業所の若手女性社員等向け 参加者32名

日時：平成30年11月16日（金）14：50～16：50

場所：二戸パークホテル

スピーカー：① 宮城建設 株式会社

企画経理部 企画人事課 課長補佐 久保田 文子 氏

② 株式会社 ファーマ・ラボ

クイーン薬局 店長 畠山 雪恵 氏

③ 株式会社 北日本銀行

湊支店 支店長代理 曾我 亜希子 氏

◆盛岡会場：県内事業所の若手女性社員等向け 参加者48名

日時：平成31年3月12日（火）14：00～16：00

場所：岩手県公会堂 2階 21号室

スピーカー：① 株式会社薬王堂

営業本部 店舗運営部 BM課 マネージャー 高橋 憲江氏

② 丸乃タイル株式会社

営業部 部長 村井 江代子 氏

意見交換会の様子



事業の概要

女性活躍推進セミナー(二戸開催)

企業における女性活躍や子育て支援、働き方改革等を促進するため、県内企業の先進的な取組事例を紹介し、就労環境の整備や企業の人材確保につなげることを目的として実施

日時:平成30年10月23 日(火)10:30～12:00

場所:二戸広域観光物産センターなにやーと 3階会議

内容

(1) 県北地域で企業の女性活躍を推進する意義について

二戸地域振興センター 所長 高田 聡

(2) 県内企業の先進的な取組事例の紹介

「働き方改革継続中！

～女性も輝く職場になるために～」

講師:株式会社北日本朝日航洋

代表取締役社長 岩尾 哲二 氏
業務グループ 菊池 香奈子 氏

(3) 女性活躍企業等認定制度について

参加者:18名



講師

株式会社北日本朝日航洋

1972年に盛岡市に創業、県内外10支店を展開する測量、建設コンサルタント会社。

従業員89名のうち、およそ半数を女性が占める。

社長が先導して従業員を巻き込んだ意識改革を行い、「いわて働き方改革AWARD2016」において総合部門最優秀賞を受賞。

H29.12、いわて女性活躍認定企業等(ステップ2)認定。



セミナーの様子

事業の概要

女性活躍関連セミナー 女性活躍のための経営者研修

女性の活躍を推進するためには、経営者や管理職がワーク・ライフ・バランスや女性登用について理解し、事業所のトップが率先して取り組むことが重要となることから、経営者や管理職の理解を深めることを目的とした研修を実施する。

～女性活躍推進のための～ 経営者・管理者セミナー

日時：平成30年11月7日（水） 14：00～16：00

場所：岩手県公会堂26号室

参加者：63名

基調講演

「心を動かす」共創マネジメントデザイン

～多様性を力に。男女共創企業へ～

講師：HAPPY WOMAN株式会社 代表取締役 小川 孔一氏

事例発表

いわて女性活躍認定企業（ステップ2）

株式会社北日本銀行人事部 部長代理 加賀見 憲二氏

きらっ at Work

プロジェクトメンバー 畠山 いずみ氏 平澤 絹子氏

【内容】

- ・女性行員によるプロジェクトチームが、女性活躍推進をテーマに、女性の視点から現状分析や企画・提言を実施
- ・繁忙期における特定日（就業時間延長）の廃止、子育て支援制度を紹介するガイドブックの配布による管理職の意識啓発、育休中の行員を対象としたeラーニングの実施などにより、結婚、出産を理由とした離職率が低下し、女性管理職比率が増加

【受講者の感想】

- ・女性の活躍について、男性行員を含めて取り組んでいることが素晴らしい。
- ・実際に成果が見られる事例であり参考になった。



セミナーの様子

岩手で輝く女性交流会

県内で活躍する女性が一堂に会し、取組の発表や意見交換などによる交流を通じて、業種を越えたネットワークづくりや活動の情報発信を目的として開催。

日時 12月14日(金)10:00～15:30

場所 マリオス 180・181会議室

参加者 80名

〔基調講演〕



テーマ「わくわくする自分の未来を作ろう！
～手本なき時代を生きるわたしたちのナリワイづくり～」

講師 鶴岡ナリワイプロジェクト代表
リードクライム(株) 取締役 井東 敬子氏

＜内容＞

- ・好きなことと地域にいいことをキーワードに、小さなビジネス＝ナリワイを生み出し、「自分のほしい未来は、自分たちで作ろう！」という人を増やすプロジェクトの紹介。
- ・「Ikigai」:①好き ②得意 ③人のためになる ④お金が稼げる4つが重なる部分。
- ・これからの付加価値は「知る」、「つながる」、「自立する」。

＜参加者からの意見＞

- ・自分にも何か始められる、不可能な事はないのだと感じた。
- ・今の時代にふさわしい内容だった。

〔いわて女性の活躍促進連携会議5部会の発表〕

防災部会、子育て支援部会、女性の就業促進部会、農山漁村で輝く女性部会、けんせつ小町部会による各部会の取組内容の紹介。

〔グループ交流会・全体会〕

Aグループ「女性の力による地域づくり」

- ・つながりを作っていくことが必要。女性が安心して意見が言える場、仲間を作る場があると良い。
- ・地域の良さを再認識するプログラム、地元の修学旅行などの取組が広がると良い。

Bグループ「ワーク・ライフ・バランスの実現」

- ・育児について、パートナーとの関わり合いが大事。
- ・ノマドワークなど多様性のある働き方が今後もっと増えればよいのでは。

Cグループ「女性のキャリアアップ」

- ・キャリアアップとは、好きなことができて、権限をもっている状態である。
- ・女性は男性に比べ、トライアンドエラーしやすい環境にあるので、その利点を生かし、これからチャレンジしていきたい。



グループ交流会



講師を囲んでの全体写真

事業の概要

女性活躍に関する出前講座

企業や団体が主催する女性の活躍促進に関する研修会等へ講師を派遣する ことにより、女性自身の能力開発及び周囲の理解協力を推進する。

日	企業・団体名	対象	人数	内容・テーマ
11/7	U A ゼンセン岩手県支部	職員	30人	「みんなが笑顔になるマネジメントの秘訣」 女性活躍推進に役立つコミュニケーションなど
12/7	パンチ工業株式会社	社員	80人	みんなのワーク・ライフ・バランス
12/7	盛岡税務署	職員	47人	男女も組織も個人も みんながハッピーになる働き方改革
12/12	株式会社ヤマイチ盛岡支店	社員	7人	皆が笑顔になるマネジメントの秘訣&コミュニケーション
12/17	盛岡市社会福祉協議会	職員	23人	皆が笑顔になるマネジメントの秘訣&コミュニケーション
12/20	株式会社日本政策金融公庫一関支店	社員	13人	みんなのワーク・ライフ・バランス
1/12	株式会社ファーマ・ラボ	社員	11人	マネジメントの秘訣
1/16	一般社団法人岩手県建設産業団体連合会	職員	30人	ワーク・ライフ・バランス
1/18	岩手県ホンダ会	職員	16人	なぜ今女性活躍・働き方改革を進めるのか
1/22	パンチ工業株式会社	社員	35人	ワーク・ライフ・バランス
1/23	医療法人友愛会ゆうあいの街	社員	34人	ワーク・ライフ・バランス
1/25	岩手県保険医協会	職員	20人	ハラスメントの無い職場
2/12	東日本旅客鉄道(株)盛岡支社一ノ関運輸区	社員	20人	みんなのコミュニケーション
2/18	盛岡セイコー工業(株)	社員	20人	女性活躍のためのキャリアデザイン
2/21	室根まちづくり協議会	職員	8人	みんなが笑顔になるマネジメント&コミュニケーション

事業の概要

女性活躍推進相談事業

女性活躍推進法第18条第2項に規定する「相談対応、関係機関の紹介その他の情報提供、助言等」を実施するため、相談窓口を岩手県男女共同参画センターに設置
相談内容：労働環境、解雇、転職、就職 職場のパワハラ、在宅ワーク、就職活動の仕方、再就職、仕事と介護の両立、職場の人間関係、パワハラ、休職中の不安など

女性のための就労支援相談

相談
無料

働きたいという女性をサポートします

019-601-6891

月～金（祝日除く） 9：00～16：00

面接・電話による相談です

できるだけ早く就職したい。

ブランクが長くて不安。

久しぶりの就職活動は不安がたくさん。

生活リズムに合わせた
働き方を考えてみたい。

仕事をしたいけど
何から始めたらいいのかわからない。

しばらく仕事を離れていたけど
もう一度働きたい。

子育て・介護と
両立できる仕事を探したい。

自分らしく生きていくために
あなたの「働きたい」をカタチに。
あなたの一步を応援します！



岩手県男女共同参画センター

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1 いわて県民情報交流センター（アイーナ）6階

ホームページ



事業の概要

農山漁村社会の意識改革

親世代の意識を改革し、女性が活躍しやすい環境づくりをすすめるため、子世代への段階的な経営継承を推奨する普及啓発活動を実施。

- 1 段階的な経営継承などの意識改革を進めるため、チェックシートを兼ねたリーフレットの作成・配付
1万部印刷、中心経営体等に配布予定
- 2 段階的な経営継承などの意識改革を進めるため、講演会の開催
 - 演題 「農業経営の円滑な継承のポイントについて」
 - 講師 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
食農ビジネス推進センター
上級研究員 山本淳子
 - 開催日・場所・参加者数

[illegible]

開催日	場所	参加者数
平成31年2月8日	久慈グランドホテル (久慈市)	44人
平成31年2月25日	エスポワールいわて (盛岡市)	72人
平成31年3月20日	大槌町沿岸営農拠点 センター(大槌町)	30人



産業の枠を超えた交流機会の創出

産業の枠を超えた交流・連携を進め、アイデアやノウハウを共有するため、商工分野の女性経営者等との意見交換会や、農林漁業に携わる若手女性の交流会を開催し、積極的に経営に参画する若手女性農林漁業者を育成。

- 1 いわて女性の活躍促進連絡会議「女性の就業促進部会」と「農山漁村で輝く女性部会」との交流会の開催
産業の枠を超えた交流・連携を進めるため、商工分野の女性経営者等との意見交換を実施
 - 開催日・場所 平成30年10月25日・エスポワールいわて（盛岡市）
 - 出席者数 20名
 - 開催内容 意見交換
テーマ：事業承継について、女性が働きやすい環境づくりについて
- 2 農林漁業に携わる若手女性の交流会の開催
農林漁業に携わる女性のネットワークづくりや女性農林漁業者の経営参画の促進を図るため、交流会を開催
 - 開催日・場所 平成31年1月29日 盛岡グランドホテル（盛岡市）
 - 出席者数 144名
 - 開催内容 ① 全体会（記念撮影、意見交換）
② 分科会（牛飼い女子会、農業女子会、林業女子会）



女性向け農業機械操作研修

農作業安全の知識や農業機械の操作技術の向上を図るため、女性農業者を対象とした農業機械操作研修会を開催。

女性向け機械操作研修会を9回（講義と実習）開催し、104名が受講

No	期日・場所	内容	参加者数
1	H30. 7. 4 滝沢市	講義：農機具を安全に使用するための注意点 農業機械の使用に関する法制度 実習：トラクター、管理機、刈払機	13名
2	H30. 7.18 金ヶ崎町	講義：農機具を安全に使用するための注意点 農業機械の使用に関する法制度 実習：トラクター、刈払機、防除機	13名
3	H30. 7.23 軽米町	講義：農機具を安全に使用するための注意点 農業機械の使用に関する法制度 実習：トラクター、管理機、刈払機	10名
4	H30. 7.25 陸前高田市	講義：農機具を安全に使用するための注意点 農業機械の使用に関する法制度 実習：トラクター、管理機、刈払機	9名
5	H30. 9.18 金ヶ崎町	講義：トラクター、コンバインの操作方法 実習：トラクター、コンバイン	10名
6	H30.10.31 一戸町	講義：農作業安全啓発（啓発ビデオやクイズ） 実習：トラクター、刈り払い機、アシストスーツ	12名
7	H30.11. 7 金ヶ崎町	講義：農業機械の取扱いについての心得・注意や岩手県の事故状況 実習：法面での草刈り、トラクター	9名
8	H30.11.20 雫石町	講義：農作業安全の基礎知識 実習：トラクター、管理機、刈払機	15名
9	H30.11.28 宮古市	講義：冬期における機械のメンテナンス 実習：トラクター、管理機、刈払機	13名

